

令和5年度 第6回教育委員会定例会

日時、場所及び出席者

日時及び場所	出席者	
令和5年9月8日(木)	教育長 坂元 裕人	教育総務課長 堀留 豊
午後2時00分	教育委員 田原 正人	学校教育課長 川崎 史明
↓		
午後3時40分	教育委員 葛迫 幸平	社会教育課長 大山 昭
第2研修室	教育委員 田之上 厚美	国体推進課長 米田 昭嗣
	教育委員 福里 由加	

会議要旨

- 1 開会
定刻、定足数に達しており、令和5年度第6回教育委員会定例会を開会した。
- 2 令和5年度第5回定例会会議録の承認について承認
- 3 議事
報告第17号 鹿児島島津家墓所（垂水市島津家墓所）災害復旧検討委員会委員の委嘱について
- 4 その他
- 5 委員並びに教育長及び課長報告
- 6 閉会

議 決 事 項

件 名	提案理由	審議の状況	採決の次第
<p>報告第17号 鹿児島島津家墓所（垂水市島津家墓所）災害復旧検討委員会委員の委嘱について</p>	<p>同委員会の委嘱について、教育長の臨時代理により決定したこと、及びその内容について報告するものである。</p>	<p>特記事項なし</p>	

議 事 内 容 等

<p>3 議 事</p>	<p>報告第17号 鹿児島島津家墓所（垂水市島津家墓所）災害復旧検討委員会委員の委嘱について</p>
<p>社会教育課長</p>	<p>同委員会委員の委嘱について、教育長の臨時代理により決定したことを報告するとともに、その内容について説明。</p>
<p>4 その他</p>	
<p>教育総務課長</p>	<p>（1）教育委員の再任について</p> <p>教育委員の福里委員が9月末に任期満了を迎えるが、9月1日の市議会本会議に福里委員を再任する議案を上程し、採決の結果、同意された。</p> <p>（2）給食費横領事件について</p> <p>平成11年に発生した本件について、議会に関連する議案を提出する。詳細は次回定例会で報告を行いたい。</p>

5 委員並びに教育長及び課長報告	委員並びに教育長及び課長報告に入る。
田原委員	<p>8月19日、国体の公開競技「綱引き」を垂水市体育館に見に行った。垂水高校が出場するという事で少ない人数の中で急遽編成されたチームなので大丈夫だろうか心配しながら見ていたが、その心配は余計なことでした。優勝した愛知チームと堂々と勝負し、2本勝負の1本目を取られ、2本目では前半リードし、あわや勝つのではないと思いましたが、やはり相手が強く2本目も取られましたけれども簡単には負けない粘りを見せたところが良かったのかなと思いました。綱引き競技を初めて見ましたが、なかなか面白い。全員が後ろに倒れ、足で踏ん張りながら、お互いに粘り全員が力を合わせて引いていきますが、ここぞという時の監督やリーダーのかけ声とか旗振りも大事だと感じました。垂水高校生はいい経験をしたなと思いました。</p> <p>2学期が始まりました。9月1日は交通安全部の人々の立哨の日で、通学路に旗を持って立っておられた。2学期のはじめの日に、こうして校区の人々が通学路に立って、あいさつを交わし見守り励ましてくださることは有り難いことだなと思いました。</p> <p>9月7日の南日本新聞に広島市の食堂運営会社ホーユーが学校給食などの提供を突然停止し、19府県48施設影響を受けているという記事が載っていました。鹿児島県でも県警察学校もこの会社で影響を受けているとのこと。社長の話では、原材料や人件費の高騰が重なり、価格転嫁など提供している施設側との調整ができなかったため、9月に入り破産手続きを申請することにしたということでした。そこで、垂水の給食提供委託会社は大丈夫なのかと思いました。最近の食材料費の値上げや電気、ガスなどの燃料費の値上げなど全国一律の問題なので給食提供会社が抱えている問題はホーユーだけの問題ではないのではないかと心配になります。給食会社と市教委や給食運営委員会との定期的あるいは臨時的会議や緊急連絡など円滑に行われているのか。運営面の安全性は担保されているのか改めて調査監督してほしいと思いました。</p>
教育長	本市の場合は全国レベルの安定した会社だと思いますが、物価高騰の影響はあると思いますので、運営状況などについてはしっかり連携して対応して欲しいと思っています。教育総務課長から何かありますか。
教育総務課長	今回の報道を受けて、学校給食係長と状況確認などを行いました。まず、ホーユーさんとは委託業務の内容に違いがあり、ホーユーさんは食材費を含めた業務で、本市の場合は調理と配送の委託であり、食材費は含まれておりません。よって物価高騰の影響はそこまでないものと思われます。しかし、やはり危機管理は大事なことなので、このような事態が生じた場合の対応については検討しておく必要があります。引き続き、事業者との意見交換などの取組を進めていきたいと思っています。

葛迫委員

令和5年度第74回鹿児島県図画作品展が8月23日から27日まで県歴史資料センター黎明館で開催されましたのでその報告を行います。

県内の幼稚園、保育園、小中学校、特別支援学校から1,235点の作品が持ち込まれ、審査の結果、特別賞46点、特選90点、入選270点、合計406点の作品が選定され黎明館に展示されていました。

垂水市からは地区審査から選出された小学校6点と中学校3点の合計9点が出品されました。去年は水之上小学校2年生の児童と中央中1年生の生徒の2名が入選していましたが、今年は4名の入選がありました。垂水小学校6年生の富田咲良子さん、中央中1年生の岩切千愛さん、中央中2年の前田陽菜さん、中央中3年生の前田千智さん。垂水中央中学校は出品した全員が入選という快挙だったのではと思います。

それぞれの作品について見てみると、垂水小6年の富田さんの作品は、《夕焼けにそまる静かな海と船》と題し、作業船が一日の作業を終え、夕焼けの中に静かに浮かぶ様子を克明に描いています。また、赤い空や船底の赤く塗られた塗料、そして青く映る海の色が対照的です。

中央中1年の岩切さんの《静かに浮かぶ古船》ですが、岩切さんは『歳をとった船の様子が伝わるように色あせた感じが出るように暗めの色を使った。また、私たちの暮らす街にこんな穏やかな風景がこれからも続くように思いを込めた』とこの作品の意図を述べています。大きな船に寄りかかるように古船が浮かんでおり、海には古船の影が描かれています。ゆっくりと休んでいる古船がなんとも愛おしい姿で表現され、また、穏やかな海そこに映る古船の影の情景に作者の強い想いが感じられます。

中央中2年の前田さんの《夏はこれから》は、暑い真夏を迎える前の日常のひとつときをさわやかな色合いでまとめた作品です。画面の奥向こうにある海や海に向かう川の情景が青色を中心にまとめられています。また、ゆっくりと流れる川の情景とカーブミラーに写る後ろ側の住宅や山の風景がこの街に住む人々の日常が垣間見える作品だと思いました。

中央中3年の前田さんの《暖かくくすむ街》は、桜島からの降灰によって灰色まみれにくすんでいく街を「それでも負けないぞ」という力強い説得力のある作品に仕上がっています。画面全体を灰色に描いていますが、赤い屋根が見え、緑色の垣根があります。そこのところに自分自身の強い想いが重ねて見えてきました。

入選に入った4点の作品は、自分たちが暮らす街の様子を描いた作品です。楽しい時や嫌な時、また街が住みやすく明るい姿でいてほしいなど自分自身の内なる風景として捉え描いたことが評価されたのではと思います。これから中学生だけでなく、小学生、そして、未就学児の子供達へこの流れを引き継いでほしいと感じました。

今回は入選ばかりでしたが、これからどうしたらこの上の賞、特選や特別賞に入っていくのかですが、この4枚の作品を見ると虚無感が少し漂っています。もう少し人の気配というか楽しさ、うれしさとか、そういう場面の絵が見てみたいと思いました。人の表情や暮らしの場面、日常がこう動いている、そういう様を描いてもらえたらと思います。

田之上委員

先日、「読書の魅力を伝える活動推進研修会」が垂水市を会場にして開催されましたので参加しました。最初に県立図書館より、読書推進活動の計画についての概要とそのための方策について説明がありました。その後、「対話でひらく本の力」と題して、鹿児島大学准教授 原田義則氏が講演されました。後半は、大崎町の読み聞かせ活動と、鹿屋市の公共図書館の取組の事例が発表されました。ワークショップでは、4つのグループに分かれて活動が行われ、それぞれに充実した学びであったと思いました。

垂水児童クラブの夏休みですが、40～50人の子供達の利用が毎日ありました。一日という長い時間をそれほど広くない空間で過ごすことは子供達にとっても大変な時もあったのではないかと思います。子供達は、暑い中でも外で元気にサッカーやドッジボール、虫取りをしたりして、汗びっしょりになって遊んでいました。プールも学校から貸していただいて前半プールができたこともよかったと思いました。室内では、トランプやオセロ、ままごとや塗り絵など思い思いに過ごしました。中でもレゴブロックは人気でびっくりするような素晴らしい作品を仕上げる子がたくさんいました。保護者の方も、朝の仕事に行かれる前に送ってこられて、毎日のお弁当など本当に大変だったことだろうと思うことでした。ご夫婦で分担をされたり、おじいちゃんおばあちゃんの協力をもらったりして、工夫されながら頑張られたようでした。1日中にぎやかすぎる児童クラブでしたが、午前と午後30分ずつ学習タイムという時間を設けました。勉強してもいいし、本を読んでもいい。何もしたくなかったらとにかく黙って静かにするというのを静かな空間が好きな子もいるので、ちょっとでもいいから静かな時間を確保しようということで実施しました。40日間きちんと子供たちもできたと思うことでした。

福里委員

綱引き大会の応援に行かせてもらいました。初めて綱引きの大会を見ましたが迫力もあり、とても楽しく参加させてもらいました。垂水高校生のチームも3チーム参加していたが、この大会のために作られたチームだったみたいですが、みんなで力を合わせて頑張る姿を見てとても感動しました。今回だけで終わるのではなく垂水高校に綱引き部ができ、次の大会の出場できるといいなと思いました。何かすごく一生懸命頑張っているのが伝わってきて、子供の姿を見るのは大人も勇気づけられるなと思いました。

子供達も長い夏休みが終わり元気よく登校しています。息子は今週日曜日にある体育祭に向けて練習を頑張っています。夏休みの出校日以降は2人ともタブレットの宿題をしていました。息子は、数学の宿題は間違えてしまうともう一度解き直しになるので慎重に解く姿を見て、問題をしっかりと読む習慣がついていいなと思いました。娘は漢字の練習をしていたので私も一緒にやってみました。書き順までは採点されていなかったようでした。娘の学年は2学期から宿題がタブレットで出されるようになっていきます。家ではタブレットだと机を使わず座ってできるので、姿勢が悪くなってしまうようなので気をつけていきたいと思いました。

教育長

教育委員さん方が触れられなかったところを触れたいと思います。まず、8月の21、22日。リーディングDX研修会で福岡に行っていました。全国の九州ブロックの大会でしたが、一番遠くは新潟から参加され、実践事例を発表されました。南は鹿児島でしたが、鹿児島市教委のセンター長が発表されていました。いずれも工夫されていますが、やはり軌道に乗せるのは難しく、ギャップというか、うまくいっているところと、いけないところの差をどう埋めればいいのか、悩ましいところです。そういう中で、垂水はよく健闘していますが、使い方、そして、先生方の意識を含め、さらに精度を上げていかないといけないと感じたところです。東北大学の堀田先生が第一人者ですが、この方をまず呼んで、保護者向けに話をしてもらいたいと思っています。

次に自主的な管理職の研修会です。8月26日土曜日、商工会の2階で開催しました。講師を前出水市の教育長にお願いしました。78歳ですが今も現職みたいな感じで90分、話をされました。自分の学校の子供たちの英語力をどう上げていったか、プライドを持って取り組んだと話をされていました。校長として、或いは教頭として、こういうところを目指してとか、行政職員はこういうところを留意してといった内容で、それぞれの職種に応じた話をしていただきました。また、若さの秘訣として、3点話されました。週に4回のラージボール(卓球)、それから何も知らないところの自治会の会長を引き受けたこと。それと趣味。絵画。絵を書く。釣りにいく。牛根によく行くそうです。野菜を作る。じっとしていることが大嫌いみたいです。そして人と会って話をする。それが若さの秘訣みたいなことを話されました。最後は何かそういう趣味を持って、生きがいを持って生きるということが大事じゃないかなということでした。

次に垂水市社会福祉大会ですが9月3日に行われました。多くの方々が福祉の充実のためにいろんな方面でご尽力いただいていると改めて感じました。それから、思いやりの心をテーマにした福祉作文にもまた感動したところでした。発達段階がよく見えました。1年生の子はお母さんが後ろについて、お母さんや担任の先生の力を借りながらの発表でした。中学生はやはり内容がしっかりしていました。すごくよかったですと思います。高校生もよかったです。子供たちがあのような場で久しぶりに発表できるというのはやはり大事です。

2学期がスタートしましたが、私は今、こんなことを考えています。どうなれば、実りの秋といえるのか、校長さん方に一人一人聞いてみたいです。どういう姿を見たら、あるいはどういう学校になれば、実りの秋だったといえるのかということを知りたい。我々としては、国体があります。国体を成功させるとはどういう意味なのか。どうなれば成功なのか。職員の方々、観客の方々、選手の方々、監督コーチ、いろんな声を聞いて欲しい。それらを集めると、成功か、或いは、どうだったのかというのが証明できると私は思っています。きっと成功すると思いますが、成功だったといえる材料をたくさん集めましょうということです。学校も同じです。何をもって、実りの秋といえるのか、子供の姿がある学校、そういったものもイメージしていかなければならないと思っています。これからですが、垂水高校の体育祭に始まり、中央中の体育大会、そして小学校の運動会が

<p>教育総務課長 学校教育課長 社会教育課長 国体推進課長</p>	<p>あります。そしていよいよ国家的イベントである国体の本番が10月7日から始まります。 私から以上です。</p> <p>8月9日から9月8日までの主な行事等について各課長が報告。 併せて、9月9日から10月12日までの行事予定についてお知らせした。</p>
<p>6 閉 会</p>	